

小学生クラス

これから先、どのようなレッスンが受講できるのかをご紹介します。

5ステップ学習法に沿って、

遊びだけではなく、学習として英語の認識度を上げていく。

5ステップ学習法とは・・・

こうすれば、話せる！読める！！

★5ステップ教育法★

どのステップから始めるか、その子のレベルに応じて指導します。

ステップ1♪(文字・発音)

アルファベット

を完璧に憶える

ステップ2♪(文字・発音)

簡単なフォニックス

から

高度なものまで年齢に応じて暗記する

ステップ3♪

単語

と慣用文型の丸暗記

インプットトレーニング(話)

ステップ4 ♪(話)

(おぼえた文型と単語を使って)

入れかえことば トレーニングで

自然な話し方を右脳に叩きこむ

ステップ5 ♪(文・話)

テキストを読み、英語音声

毎日聞いてイントネーションや

文脈を脳がつかみ、無理なく自然に

自分で発言できるまでにする

何もしていないでいると、通常は

小学高学年になるまで全くふれる事のない分野です。

外国人から直接言葉をかけてもらえる環境を

作ってあげることがやはり一番大切です。

そして、当校は

受験をにらんだカリキュラム作り

英語を話す事に特化した教材作り

それぞれを提案しています。お好きなレッスンをお選び頂けます。

日本には受験という、これを越えなければ社会に負けてしまいかねない高いハードルがあるのです。

単語・単語・単語・熟語と口をすっぱくするほど言い続けています。幼児期からはぐくまれた基礎にかなうものはないでしょう。

日本語と同じように、**やれば必ず身につくのが語学**です。

取り組みが早いほど、将来子どもの**意識的な力や努力以外**に、
その子自身の**脳が味方**をしてくれます。

それほど取り組んだ時間とは貴重なのです。

低年齢のうちに何をするのか？

日本語と同じように

将来右脳で理解できるようになる

基礎作りをすることがたいせつです。

右脳で理解できるということは、日本語と同じように

瞬時に理解できる

ということなのです。

そのために当校の教材はオリジナルで右脳左脳両方使うレッスンを作成しております。

日本語が完全に話せないこどもの脳には

英語を理解する事に、何の躊躇もありません。

英語は、

子音・母音の数や文法などが

日本語とは異なって

います。

漢文を思い出してください。区読点が付いているから理解できるものの、

日本語とは法則が全く違っていました。それが英語にも言えるのです。

更に英語は漢字ではないので、一つ一つの単語を覚える作業にも時間がかかります。

文法＝規則 そして物の名前である 単語 これらは

「話す為に絶対に 暗記しなければならないもの」

この難解な、普段全く日本では必要としない英語の必須事項も
幼児期から経験をつんでいけば、
物心ついたときには自然と頭に入っています。

言葉とは、

**必要性があると信じる人から
順に理解していく**

ものだと思います。

そこで幼児期からの取り組みが、脳に確実に刻まれていくのです。

こどもは親がどのように

教育を与えるかによってその可能性は無限です。

自宅での英語学習について

自宅での取り組みも英語教育にはかせません。

何しろ日本では、日常生活において英語に触れる時間が、
ほとんどと言っていいほどないからです。

そこで、レッスン前後 15 分間**毎回単語テスト**をご用意しております。

宿題も兼ねておりますので、無駄なくレッスンを行えます。

会話クラスを受講された場合は

英検受験のためだけでなく、

本当に英語が話せる子を育てていきます。